

Seuil de 505 kanji B2.2

L'ensemble du sujet porte sur l'axe 8 du programme : **Territoire et mémoire.**

Il s'organise en trois parties :

1. Compréhension de l'oral
2. Compréhension de l'écrit
3. Expression écrite

Vous disposez tout d'abord de **cinq minutes** pour prendre connaissance de **l'intégralité** du dossier.
Puis vous entendrez trois fois le document support de la compréhension de l'oral.
Les écoutes seront espacées d'une minute.
Vous pourrez prendre des notes pendant les écoutes.
À l'issue de la troisième écoute, vous organiserez votre temps (1h30) comme vous le souhaitez pour **rendre compte en français** du document oral (partie 1) et du document écrit (partie 2) et pour **traiter en japonais le sujet d'expression écrite** (partie 3).

1. Compréhension de l'oral (10 points)

DOCUMENT 1

Titre du document : 国立アイヌ民族博物館は生きている人の博物館です

Source du document : NHK 北海道

Aide à la compréhension du document :

基本構想段階 : concept d'origine

民族博物館 : musée ethnologique

白老町 : nom d'une ville

展示する : exposer

解説 : 説明

Vous rendrez compte librement en français de ce que vous avez compris du document.

Modèle CCYC : ©DNE																								
Nom de famille (naissance) : <small>(Suivi s'il y a lieu, du nom d'usage)</small>																								
Prénom(s) :																								
N° candidat :													N° d'inscription :											
<small>(Les numéros figurent sur la convocation.)</small>																								
Né(e) le :	/		/																					



1.1

2. Compréhension de l'écrit (10 points)

DOCUMENT 2

Titre du document : 私は「教科書の中の人」ではない

「小さい時、むっちゃんと呼んでいたアイヌ文化の^{でんしょうしゃ}伝承者¹から、千歳^{ちとせ}²にある彼女の自宅がよく物語を聞かせてもらっていました。状況^{じょうきょう}はあまり覚えていないのですが、むっちゃんのアイヌ語を話すだけがぼんやりと、でも強く印象^{いんしょう}に残っています。むっちゃんの思い出は、私にとって大事な思い出であり、暖かい思い出です。

- 5 家族から話は聞いていましたが、大人になるにつれて、アイヌの人たちが差別^{さべつ}や偏見^{へんけん}³の対^{たい}象^{しょう}⁴となっていることを意識^{いしき}するようになりました。自分が直接^{ちよくせつ}いじめを受けていなくても、アイヌじゃない人たちが多^{おほく}い中^{ちゆう}では、少しずつアイヌであることに引け目を感じる⁵ようになっていきました。

- 10 学校の教科書でアイヌの話が出てきても、アイヌは「教科書の中の人」「歴史^{れきし}の中の人という雰^{ふん}囲^い気^きが教室中^{いわかん}にあって、違和感^{いわかん}を感じていました⁶。アイヌの血を引いている⁷自分が同じ教室にいるのに、いないみたいにあつかわれていると感じました。私自身も、そういう時はなるべく教室の中で目立たないように意識^{いしき}していました。友達に「私アイヌなんだよね」と言ったら、「えっ！いいね！かっこいいじゃん！」と言われたんです。「自分の守^{まも}りたいものがあるっていいじゃん」とまで言
- 15 ってくれた人もいます。みんな偏見^{へんけん}を持っていると**驚^{おどろ}**きました。同世代^{へんけん}の人たちは意外と偏見^{へんけん}がないんだなと思いました。同時に、アイヌを知らない世代なんだなって思いました。

¹ 伝承者 : passeur

² 千歳 : ville de Chitose (Hokkaidô)

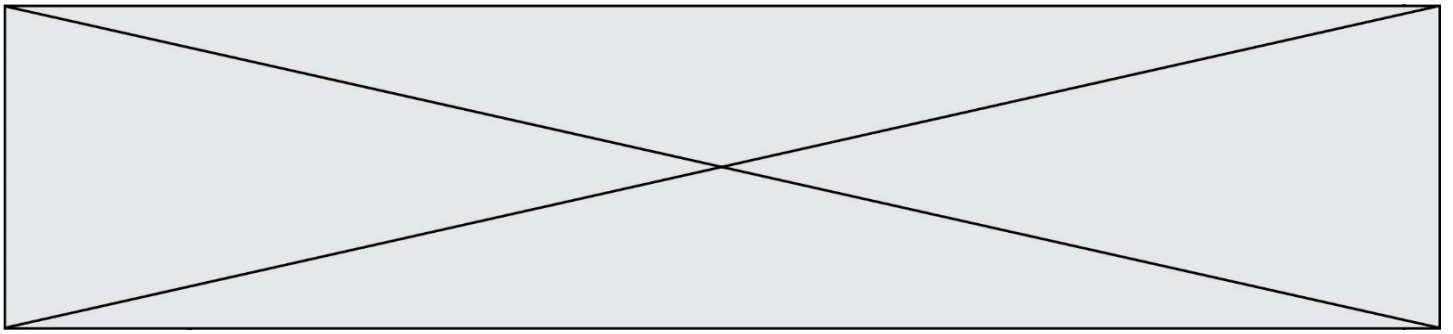
³ 偏見 : préjugé

⁴ 対象 : cible

⁵ 引け目を感じる : se sentir inférieur à

⁶ 違和感を感じる : être mal à l'aise

⁷ 血を引く : descendre de



20 日本人として生きている自分がいて、アイヌとして生きている自分がいます。自分にたくさんの色を^{あた}与えてくれているのが、アイヌ文化です。ですが、まだまだアイヌであることを^{ほこ}誇る時代ではないと感じています。現代に合った方法で、私だからこそ残せるアイヌ文化を発信していくことで、みんなが自分の考えるアイヌを発信できるようになったらいいなと思っています。

25 海外の人が日本に来た時に、日本の^{でんとうてき}伝統的なものや地方の文化のものがたくさんあった方が^{みりよくてき}魅力的⁸だと思っていて、そのためには、まずは自分たちの文化の^{みりよく}魅力に気付いて、発信していく必要があるんじゃないでしょうか。」

^{にほんぼんへんしゅうぶ}ハフポスト日本版編集部アート&カルチャー(2019年04月22日)より

Vous rendrez compte librement en français de ce que vous avez compris du document.

3. Expression écrite (10 points)

Traitez en japonais et en 350 signes minimum l'UN des deux sujets suivants. Vous indiquerez sur votre copie le sujet choisi.

Question A

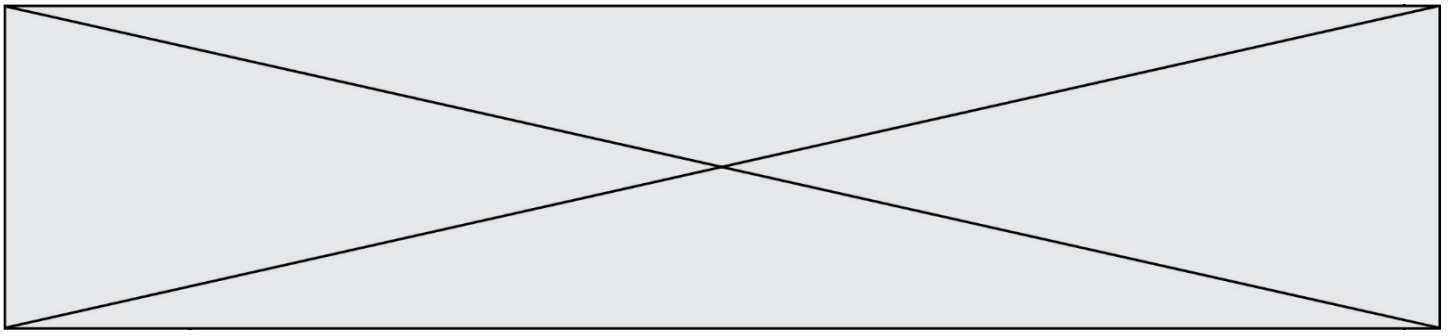
夏休みにあなたはアイヌ民族博物館^{はくぶつかん}を見物しました。とても感動しました。友達に手紙を書いて、見たものを説明したり、自分の気持ちを伝えてください。

Question B

少数民族 (minorités ethniques) ^{まも}を守ることは大切なものだ⁸とあなたは思いますか。

Afin de respecter l'anonymat de votre copie, vous ne devez pas signer votre composition, citer votre nom, celui d'un camarade ou celui de votre établissement.

⁸ 魅力的 : charmant



Seuil de 385 kanji B1.2

L'ensemble du sujet porte sur l'axe 8 du programme : **Territoire et mémoire.**

Il s'organise en trois parties :

1. Compréhension de l'oral
2. Compréhension de l'écrit
3. Expression écrite

Vous disposez tout d'abord de **cinq minutes** pour prendre connaissance de **l'intégralité** du dossier.
Puis vous entendrez trois fois le document support de la compréhension de l'oral.
Les écoutes seront espacées d'une minute.
Vous pourrez prendre des notes pendant les écoutes.
À l'issue de la troisième écoute, vous organiserez votre temps (1h30) comme vous le souhaitez pour **rendre compte en français** du document oral (partie 1) et du document écrit (partie 2) et pour **traiter en japonais le sujet d'expression écrite** (partie 3).

1. Compréhension de l'oral (10 points)

DOCUMENT 1

Titre du document : 国立アイヌ民族博物館みんぞくはくぶつかんは生きている人の博物館はくぶつかんです

Source du document : NHK 北海道

Aide à la compréhension du document :

基本構想段階きほんこうそうだんかい : concept d'origine

民族博物館みんぞくはくぶつかん : musée ethnologique

白老町しらおいちょう : nom d'une ville

展示するてんじ : exposer

解説かいせつ : 説明

Vous rendrez compte librement en français de ce que vous avez compris du document.


Modèle CCYC : ©DNE
Nom de famille (naissance) :
(Suivi s'il y a lieu, du nom d'usage)

Prénom(s) :

N° candidat : **N° d'inscription** :

(Les numéros figurent sur la convocation.)

Né(e) le : / /



RÉPUBLIQUE FRANÇAISE

1.1

2. Compréhension de l'écrit (10 points)

DOCUMENT 2

Titre du document : 私は「^{きょうかしよ}教科書の中の人」ではない

「小さい時、むっちゃんと呼んでいたアイヌ文化の^{でんしょうしゃ}伝承者^{ちとせ}1から、千歳^{ちとせ}2にある彼女の^{じたく}自宅^{じょうきょう}でよく物語を聞かせてもらっていましたが、状況^{じょうきょう}はあまり覚えていないのですが、むっちゃんのアイヌ語を話すだけがぼんやりと、でも強く^{いんしやう}印象^{のこ}に残っています。むっちゃんの思い出は、私にとって大事な思い出であり、暖かい思い出です。

5 家族から話は聞いていましたが、大人になるにつれて、アイヌの人たちが^{さべつ}差別や^{へんけん}偏見^{たいしやう}3の^{たいしやう}対象^{いしき}4となっていることを意識するようになりました。自分が^{ちやくせつ}直接^{ちやくせつ}いじめを受けていなくても、アイヌじゃない人たちが多い中では、少しずつアイヌであることに^{ひきめ}引け目^{いしき}を感じる^{いしき}5ようになっていきました。

10 学校の^{きょうかしよ}教科書^{きょうかしよ}でアイヌの話が出てきても、アイヌは「^{きょうかしよ}教科書の中の人」^{れきし}「歴史の中の人」という^{ふんいき}雰囲気^{いわかん}が教室中^{いしき}にあつて、違和感^{いしき}を感じていました^{いしき}6。アイヌの血を引いている^{いしき}7自分が同じ教室にいるのに、いないみたいにあつかわれていると感じました。私自身^{じしん}も、そういう時はなるべく教室の中で目立たないように^{いしき}意識^{いしき}していました。友達に「私アイヌなんだよね」と言ったら、「えっ！いいね！カッコいいじゃん！」と言われたんです。「自分の^{まも}守りたいものがあるっていいじゃん」とまで言

15 ってくれた人もいます。みんな^{へんけん}偏見^{おどろ}を持っていると思っていたので、^{おどろ}驚^{おどろ}きました。同世代の人たちは意外と^{へんけん}偏見^{へんけん}がないんだなと思いました。同時に、アイヌを知らない世代なんだなって思いました。

1 伝承者 : passeur

2 千歳 : ville de Chitose (Hokkaidô)

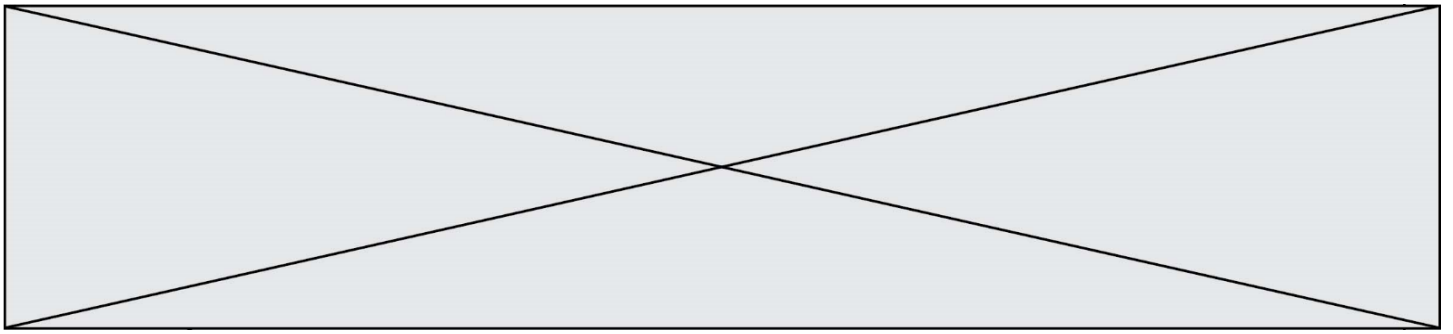
3 偏見 : préjugé

4 対象 : cible

5 引け目を感じる : se sentir inférieur à

6 違和感を感じる : être mal à l'aise

7 血を引く : descendre de



20 日本人として生きている自分がいて、アイヌとして生きている自分がいます。自分にたくさんの色^{あた}を与えてくれているのが、アイヌ文化です。ですが、まだまだアイヌであることを誇^{ほこ}れる時代ではないと感じています。現代に合った方法^{げんだい}で、私だからこそ残^{のこ}せるアイヌ文化を発信していくことで、みんなが自分の考えるアイヌを発信できるようになったらいいなと思っています。

25 海外の人が日本に来た時に、日本の伝統^{でんとうてき}的なものや地方の文化のものがたくさんあった方が魅力的^{みりよくてき}⁸だと思っていて、そのためには、まずは自分たちの文化の魅力^{みりよく}に気^きづいて、発信していく必要があるんじゃないでしょうか。」

ハフポスト日本版^{にほんぽんへんしゅうぶ}編集部アート&カルチャー(2019年04月22日)より

Vous rendrez compte librement en français de ce que vous avez compris du document.

3. Expression écrite (10 points)

Traitez en japonais et en 250 signes minimum l'UN des deux sujets suivants. Vous indiquerez sur votre copie le sujet choisi.

Question A

夏休みにあなたはアイヌ民族博物館^{みんぞくはくぶつかん}を見物しました。とても感動しました。友達に手紙を書いて、見たものを説明したり、自分の気持ちを伝えてください。

Question B

少数民族^{みんぞく} (minorités ethniques) を守^{まも}ることは大切なものだ⁸とあなたは思いますか。

Afin de respecter l'anonymat de votre copie, vous ne devez pas signer votre composition, citer votre nom, celui d'un camarade ou celui de votre établissement.

⁸ 魅力的 : charmant